



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

言葉は魔法だ
受け取り方しだいで
げんきがでたり 意欲を燃やしたり
よろこんだり ありがたかったりする
でも 相手の言葉しだいで
おちこむこともあるし
うらんだり にくんだり
かなしかったり 迷ったりする
人の気持ちには 光と影がつきまとうから
言葉の魔法に かかりやすい

「ユウに つよく

ひびいたから」 著

阿部ヤエ 詩集より



先日の親子で遊ぼう会へのご参加ありがとうございました。初めての会場ということもあり、事前見学をした際には狭い印象があり、保護者席はどうか、会場が遠くなったことで雨だと、荷物の搬入は大変になるのか等心配がありました。心配した以上に狭くもなく丁度いい広さでした。雨対策に対しては日本女子体育大学のご厚意もあり、前日からの搬入もできたので道具の移動もスムーズでした。終了後は雨もやみ保護者の方もかたづけに協力していただき短時間で終わることができました。また、スピーカーからの声の聞き取りもよく取り組み内容が伝えられ会場変更に関しては利点が多かったように思いました。前日会場に隣接の住宅には事前にご協力と理解を求めるチラシを配布しました。保護者からは連絡ノートにたくさんの感想が寄せられました。家庭でもたくさん褒めたという記載があり、子どもたちにとって大きな励みになったと思います。職員にとっても励みになりました。御協力ありがとうございました。

11月には各クラスとも保育参観、面談が入っています。また、22日には給食試食会もあります。集団の中での自分の子どもの姿を見る機会にもなりますので、ご都合をつけて参加していただき、おたがいに情報交換して子育ての応援ができたと思います。

11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 文化の日の振替休日	5 産前産後 体験保育	6 3才遠足※ 白梅大学実習※	7	8 3才遠足予備日	9	10
11 さつまいも掘り※ 中学生職場体験※	12	13 4, 5才遠足※	14 健康診断	15 4, 5才遠足予備日	16	17
18	19 乳児散歩 ※	20 焼き芋※ 体験保育	21 身体測定	22 給食試食会※	23 勤労感謝 の日	24
25	26 わらべうた	27 焼き芋予備日	28 健康診断	29 幼児誕生日会	30	

※ 6日(水) 3才遠足 (カメラマンの撮影があります)

※6日～19日 白梅学園大学 実習生が入ります

※13日(水) 4, 5才遠足 (カメラマンの撮影があります)

※11日(月) 午前中 幼児 さつまいも掘り

※11日～15日 明星中学校職場体験 幼児とあひる組に1名ずつ入ります

※19日(火) 乳児の各クラスが散歩に行く際にカメラマンが同行して撮影します

※20日(水) 15:30～ 幼児 焼き芋 (体験保育の方の参加もあります)

※22日(金) 給食試食会 16:30～18:10 ふくろう組

事前に参加の可否をお聞きします。当日は、保護者のみの試食になりますのでお迎え前にふくろう組に来てください。18:10の受付で終了します。



お知らせ

台風19号は大きな被害をもたらし、保護者の親類の方の中にも被害にあわれた方がいらっしゃるかもしれませんが、一日でも早い復興を願っています。今後も大きな災害がいつ起きてもおかしくない状況なので保育園でもいざという為の対策を色々考えています。つきましては、大きな災害の際、お子さん、保護者、職員の命の安全を考え休園させていただくことがありますのでご理解とご協力をお願いします。なお、医療関係、警察、消防関係、ライフライン関係に従事され、且つ保育園以外に預け先がない場合は職員を確保して保育園にてお預かりしますので、該当される職業の方は早めに事務室にお知らせください。





ある日のエピソードより。。。



一歳児クラスの子どもたちは、夏休みを終えてから、言葉をたくさん話せるようになり、大人が話すことも理解していて会話ができるようになってきました。

ある日、私と担当のFちゃん、Mちゃんです。午前食を食べているときでした。パートさんに「ここに置いてあるオムツは捨てて良いやつですか？」と聞かれ、何の事だろう？と私が振り向いた時、大人の会話を聞き取ったFちゃんがMちゃんに向かって、「あのオムツMちゃんのもの？捨てるの忘れちゃった？」と聞いていて、それに対してMちゃんは「ちあう（違う）」と言って首を振っていました。実はご飯を食べる前のオムツ替えの時に、Mちゃんが捨て忘れていたのをFちゃんは見えていたのです。結局そのあとMちゃんはオムツを捨てていたので、二人がご飯を食べているときにあったオムツは他の子のものでした。

大人同士でしていた会話から内容を的確に聞き取り、きちんと少し前に起こった出来事を覚えていて友達に聞く姿から、記憶や言葉の発達を目の前で感じることができ、成長に喜びを感じた瞬間でした。

1才児保育士



ある日の延長保育でのエピソードです。その日は3～5歳児でテラスに出てクッションマット(階段、斜面にパーツが分かれる大きなクッション)で体を動かし遊んでいました。途中で4歳児のCちゃんが、「あ！良いこと考えた～！」と、使っていなかったマットやベンチを運んできて、最初に私が設定したものにどンドンつなげていきました。他の子どもたちも協力しながら、最終的にはサーキットのようにぐるっと一周できるくらいにまで道ができていき…最後、スタート地点につながる道を作ったのが5歳児のHくん。フラフープを並べ、その中をジャンプして最初のところまで戻るコースを考えました。「このくらいならいけるかな…」などと自分で跳びながらフープを置く間隔を決めていたHくん。そしてコースが完成し、しばらくして後ろからやってきた3歳児のYくん。フープを目の前に「こんなのできない～!!!」と半泣き状態に…。私がそっと位置をずらそうと近くに行こうとすると、すかさずHくんが戻ってきて「はい！これでできるよ！」とYくんが跳べる幅に、フープをずらしてくれたのです。無事に大きい子たちと同じようにスタート地点まで戻れたYくんは「やったー！できた！」と満足そうな表情をみせていました。そしてそれをみた4歳児のCちゃんも「すごいすごい！」と褒めてくれたのです。Yくんはもう嬉しくなって、そのあとお迎えが来るまで何度も繰り返しそのサーキットを回っていたのでした。

とてもさりげない一場面だったのですが、Yくんの様子を見てHくんがとった行動も、Yくんが喜び姿をみて、それを認めてあげる声掛けができるCちゃんも、どちらも小さい子に対して思いやる気持ち、優しい気持ちが育っていることを感じ、感動しました。そして、そうした行動が自然にでてくるのも、3・4・5歳児が普段から一緒に生活する環境の中で培われてきているのだなということも感じ、このように自分にしてもらった経験を経て今度は自分より小さい子に対して自然と優しさがもてるようになっていく…そんないい巡りが繋がっていくといいなと感じました。

フリー保育士

